

# 桂湖の断層

南砺市の新たな観光スポットとして期待されている桂湖は、公式大会でのポートコースが十分にとれるような直線的な地形が特徴である。周囲の山々がかたい火山岩でできているにもかかわらず、このような地形となったのは、活断層のひとつである加須良断層の活動によるものが大きい。

加須良断層の位置は、金沢市横谷付近を北西端とし、岐阜県の白川村鳩谷付近を南東端とする。長さは約25km前後で東側隆起の逆断層の性質をもつ左横ずれ断層であり、平均上下変位速度は1m/千年。また、平均活動間隔は約3千6百年－6千9百年程度で、今後300年の地震発生確率はほぼ0%とされている。この加須良断層の露頭と屈曲の地形が最もよく観察できるのが桂湖周辺である。



桂湖左岸に残る崩壊地形

